

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和 6年 4月 12日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和 6年 3月 30日（土曜日）～令和 年 月 日（ ）

活動先

活動目的 議会の活動内容を市民の方へ報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

すなだ竜一 市議会だより 2024 年春号

印刷業者 三好印刷

支払金額 545,050円

配布先 市内各所、新聞折込

配布枚数 25,000部

たより内容 別紙のとおり

すなだ竜いち

市議会だより 2024年
春号

TEL.090-2377-3396 E-mail:sunaryu2000@gmail.com



越前市 2024年市政トピックス

北陸新幹線開業、
市全体がミュージアム

令和6年大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に、北陸新幹線県内開業との相乗効果を図りながら、紫式部を核とした地域の魅力発信や文化振興、観光誘客に官民一体となって取り組み、全国に本市や福井県の魅力をアピールします。

令和6年度 “しきぶきぶんミュージアム” 年間スケジュール

	令和6年			令和7年
	春	夏	秋	冬
紫式部プロジェクト	「光る君へ」ラッピングバス運行(越前たけふ駅～大河ドラマ館)			●紫式部の旅(10/18～20)
国府発掘調査	現地発掘調査(本興寺) 地質調査(3D画像)による現場再現など			「発掘現場公開」
公会堂記念館1階常設展	「通年」紫式部と越前国府関連展示と国府発掘調査速報コーナー ※通宣、展示替え有			
公会堂記念館2階企画展		7/26～9/1 源氏物語が彩る工芸	10/25～11/24 国府時代の仏像	1/31～3/9 紫式部・源氏物語関連 錦絵(浮世絵)
まちなかイベント		サマーフェスティバル(8月中旬) たけふ菊人形(10月上旬～11月上旬) 千年米工芸祭(8月下旬)		まちなかイルミネーション
紫ゆかりの館催しの間	源氏物語の四季(六条院の春)	源氏物語の四季(六条院の夏)	源氏物語の四季(六条院の秋)	源氏物語の四季(六条院の冬)
紙の文化博物館	和紙の作り方展～彩～ 輪草子の世界	大正新木版画 川瀬巴水	桂由美ブライダル特別展 和紙ドレス展	和紙作りの道具展 辻元展 文助
いまだて美術館 味真野地区ほか			●第5回全国万葉歌地サミット(11/16・17)	
図書館	【通年】「めぐりあいて紫式部」をテーマに関連図書を年6回展示(2か月毎に展示替え)			

介護保険料の
低所得者軽減の拡充

第9期(令和6年度～令和9年度)の介護保険料を改正します。

- ①保険料基準額(70,680円)の据置き
- ②所得区分を国の標準段階に合わせ、12段階を13段階に細分化
- ③低所得者層の負担額を減らし、支払い能力に応じた負担の仕組みを強化



世帯	本人	所得段階	保険料額
非課税	非課税	1段階	現行21,210円→17,670円(市独自軽減)
		2段階	現行35,340円→34,280円
		3段階	現行49,470円→48,410円
		4段階	現行60,070円→60,070円(市独自軽減)
課税	課税	5段階	70,680円(保険料基準額)
		6～13段階	現行82,690円～155,490円→84,810円～169,630円

児童手当の支給対象などが拡充

- ・児童手当の支給対象年齢を高校3年生まで拡大し、所得制限が撤廃されます。
- ・第3子以降については、一律に支給額が月3万円に引き上げられます。
- ・手当の支給月がこれまでの6・10・2月から2か月ごとに増加します。



制度の変更内容

	現行	拡充後
0～2歳	15,000円	15,000円
3歳～小学生	10,000円	10,000円
中学生	10,000円	10,000円
高校生	なし	10,000円
所得制限の有無	あり	なし

●●● 2023年度 越前市議会の取り組み ●●●

特別職報酬等審議会の開催を申し入れ

議員の担い手不足の解消のため、議会活性化特別委員会等で協議を行い、市民のご意見を伺ったうえで、時代に合った議員報酬となるよう見直しの申し入れをすることを全議員一致で決定しました。議員報酬の見直しは「特別報酬等審議会」ではかる必要があるため、市長へ審議会開催の申し入れを行いました。

改革を求められる地方議会



市民と議会との語る会を開催



越前市議会では、越前市議会基本条例の趣旨に基づき、市民に開かれた議会の実現を目指し、毎年「市民と議会との語る会」を開催しています。新型コロナが5類へ移行したため、語る会を全地区で開催します。2年かけて全ての地区で開催する予定です。語る会では議会報告および小グループに分かれての意見交換を行っています。語る会で頂いたご意見を今後の議会活動に生かしてまいります。

11/8大虫公民館、11/10武生東公民館、11/14吉野公民館、11/15北新庄公民館、11/16王子保公民館、11/17あいぱーく今立、11/18岡本公民館、11/21白山公民館、11/22武生南公民館

すなだ竜一 議会一般質問

◆12月議会【会派代表質問】

12月議会では、会派「市民ネットワーク」の会長として代表質問を行いました。市長の政治姿勢や人口問題、福祉や産業支援、教育や防災など、幅広く13項目の質問を行い、様々な市民の方や企業・団体へのサービス向上を要望しました。



◆3月議会

「自治体DXと市民サービスについて」

問 越前市LINEについて、詳しく説明を

答 市公式LINEについて、スマートフォンで簡単に本市の行政サービスを利用できるよう、分散している電子申請システムや市ホームページの機能を集約したインターネット上の行政窓口として、令和4年8月から運用を開始した。市ホームページで閲覧数が多い情報を中心に、「くらしの情報」としてまとめるとともに、市広報誌の電子版の閲覧も可能とし、紙の広報誌がなくても情報を取得できるようにしている。また、ごみ収集情報や、イベント情報、子育て情報など、欲しい情報を受信したい人は、登録者自らが設定することにより、自動的に受信できる。さらに、行政から市民への情報提供だけでなく、道路の損傷連絡など、市民から行政への情報提供機能も備えている。



越前市
公式LINE
QRコード

2024年 主な経歴「砂田竜一」

- ・越前市議会議員(2期目)(2024年3月現在)
- ・会派「市民ネットワーク」会長
- ・教育厚生常任委員会委員長
- ・議会運営委員
- ・議会活性化特別委員

〈その他〉

- ・南越消防組合議会議員
 - ・F-TOP21(福井総合政策フォーラム21)議員団
- 昭和51年9月5日生まれ(旧武生市府中1丁目出身)



■商工業の振興について
問 企業誘致や雇用・定住化を促進するため、企業立地支援制度の一層の充実や、企業進出を促すためのスピード感のある土地造成開発が行えるような新しい支援体制の構築を要望するが、市の考えは。
答 越前たけふ駅周辺での研究開発施設整備の補助額を充実するなど、県内トップクラスの企業立地促進補助金等の支援をしている。土地開発公社の解散以降、市は誘致の立場で地元や地権者、関係団体と調整している。今後も県と連携し、企業進出や増設のニーズに対し、フォローとサポートを行う。



■人口問題、定住化促進対策について
問 北陸新幹線の延伸開通を機縁として、本市の魅力や定住を考へる人を増やす試みを要望するが、人口減少にかかる市の考えは。
答 本市は、子供の医療費無償化など充実した教育、子育て環境が整っており、これらの魅力を全国に発信し、移住やUターン対象者とのつながりを一層強化していく。同時に地域経済の活性化を目指し、新しい産業の創出や誘致、観光産業拡大プロジェクトなどにより、10万人の元気と活力の維持、拡大に努めていく。

